

## 新都市社会技術融合創造研究会 第12回委員会 議事録 骨子(案)

日時:平成18年12月15日(金) 15:00~17:00

場所:OMMビル会議室 4号室

## 出席者

## &lt; 委員 &gt;

大西委員長(京都大学)

樋口副委員長(道建協)、小林副委員長(京都大学)、藤森副委員長(近畿地方整備局)、

小林委員(代理:土工協)、武委員(代理:建コン協)、

家村委員(京都大学)、山田委員(大阪市立大学)、宇野委員(代理:京都大学)、大島委員(代理:京都大学)、

山田委員(近畿地方整備局道路調査官)、山本委員(近畿地方整備局近畿技術事務所)

坂野委員(関西大学)、西山委員(京都大学)、岸田委員(京都大学)

## &lt; 関係者及び会員 &gt;

近畿地方整備局:後藤道路情報管理官、加藤道路管理課長、金田交通対策課長、

山下道路管理課長補佐

滋賀国道事務所:安藤所長

豊岡河川国道事務所:沢田副所長

紀南河川国道事務所:市川副所長、坂本工務課長

近畿技術事務所:和田副所長

プロジェクト関係者:宇都宮助教授(鋼橋の疲労亀裂進展シミュレーション手法の開発とその維持管理への応用に関する研究)

中山幹事(既設構造物の延命化技術に関する研究プロジェクト)

香川幹事(積雪寒冷地における舗装の耐久性向上及び補修に関する研究)

夏秋幹事(鋼橋の疲労亀裂進展シミュレーション手法の開発とその維持管理への応用に関する研究)

## &lt; 事務局 &gt;

近畿地方整備局道路工事課:大西課長、古野課長補佐、今井改良係長

(財)道路保全技術センター:久保、荒木、生田、水口、田口

## 議事について

## 1. 新任委員の紹介

- ・近畿地方整備局道路調査官の交代があり、山田委員が就任される。

## 2. 前委員会の議事録確認

- ・特になし

## 3. プロジェクトチーム設立承認

< 「資料-2 新規プロジェクトチームの設立(活動計画書及び応募用紙)」に基づき各リーダーから説明 >  
 下記の新規プロジェクトチームの設立が承認され、リーダーが指名される。

- ・ITSを活用した道路交通ネットワークの調査・評価手法に関する研究(リーダー:京都大学 谷口栄一教授)
- ・ITSを活用したまちづくりのための交通マネジメントに関する研究(リーダー:京都大学 谷口栄一教授)
- ・積雪寒冷地における舗装耐久性向上及び補修に関する研究(リーダー:京都大学 小林潔司教授)

最終的にはNETIS登録できるまでの技術が出てくるとよい

- ・鋼橋の疲労亀裂進展シミュレーション手法の開発とその維持管理への応用に関する研究(リーダー:関西大学 坂野昌弘教授)

最終アウトプットをもう少し明確にした方がよい

アセットにつながっていけばよい

- ・道路防災に役立つネットワークシステムの構築に関する研究(リーダー:京都大学 西山哲助教授)

災害時の電力停止時に使えるシステムにしてほしい

どんなデータをとって使おうとしているのが重要

- ・景観性に優れたアーチカルバートをを用いた盛土構造に関する研究(リーダー:京都大学 岸田潔助教授)
- 将来の管理も考えた形を検討して頂きたい

新規プロジェクト立ち上げに伴い、新たに坂野委員（関西大学教授）、西山委員（京都大学助教授）、岸田委員（京都大学助教授）が委員に就任される。

#### 4．第4回新都市社会技術セミナーについて

<「資料 - 3-1 第4回新都市社会技術セミナーについて」

および「資料 - 3-2 鼎談について(案)」に基づき事務局から説明>

- ・第4回新都市社会技術セミナーを平成19年2月27日（火）に開催する
- ・場所は建設交流会館とし、グリーンホールと702号室の2会場に分けて行う
- ・今年度立ち上げる新規プロジェクトについても、20分程度でご発表頂く
- ・例年の特別講演に代わり、産学官の代表による鼎談を行う。近年、産学官を取り巻く環境が激変している中、産学官連携の重要性・必要性について語って頂く。
- ・橋梁のコスト縮減構造に関する研究会から  
今年度、最終年度を迎え、年度明けくらいにその成果を発表する場を設けたい。事務局と相談させて頂きたい。
- ・排水性舗装混合物のリサイクル技術研究会から  
来年、このプロジェクトで研究した合材を用いて試験施工を行う予定である

#### 5．新しいリーフレットについて

- ・リーフレット（案）について承認される
- ・原稿について、年内に提出頂く

#### 6．その他

- ・特になし。

以上